

省 務 總

省庁名:総務省

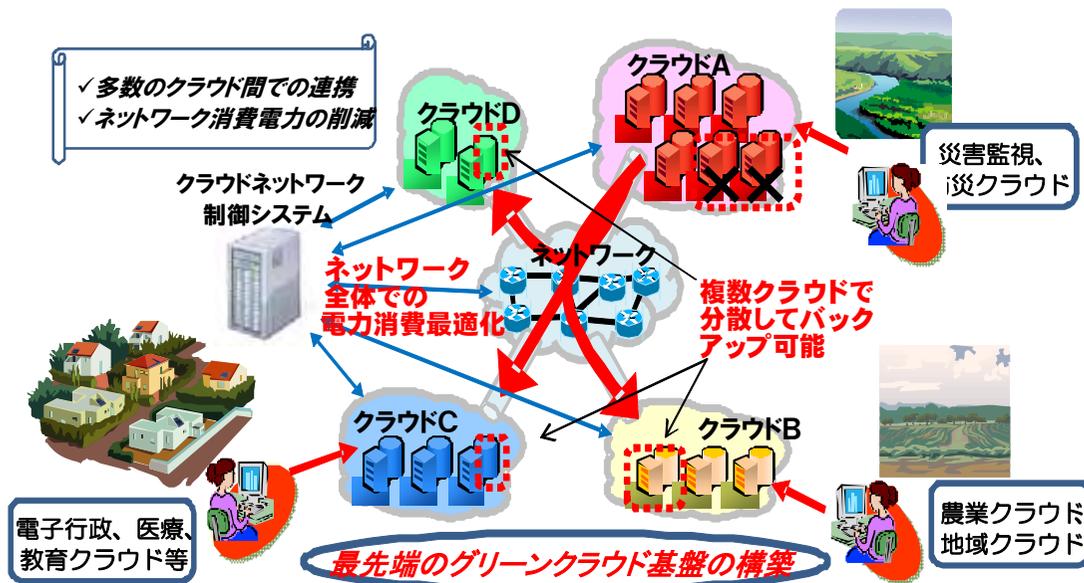
施策パッケージ名:④情報通信技術の活用による低炭素化

施策名:最先端のグリーンクラウド基盤構築に向けた研究開発

概算要求額:1550百万円(内特別枠要望分1550百万円)(平成23年度)

中小を含む複数のクラウドが高度に連携し、全体の2~3割もの省電力化を図りつつ、高信頼・高品質なクラウドサービスを提供することを目指して、最先端の『グリーンクラウド基盤』の構築を図る(平成24年度までに実現)。

これにより我が国のクラウド産業の国際競争力の強化を早急に図るとともに、将来、このようなクラウド基盤を行政、防災、環境分野など多様な社会インフラ分野で活用し、ICTによる情報、エネルギー等の最適制御に資する。



<米国のクラウド分野への対応強化>

- ・ハード(IBM、HP等)
- ・ソフト(マイクロソフト、オラクル等)
- ・アプリケーション(グーグル、セールスフォース等)

我が国のクラウド基盤技術の強化

- ・複数クラウドが相互にバックアップし、信頼性向上(クラウド間の経路選択の千倍の高速化)
→電子行政や防災システム等の重要な情報システムにも一層の利用拡大
- ・ネットワーク全体での電力消費最適化(2~3割に及ぶ電力消費削減)

世界最先端の高信頼・省電力なクラウド間連携基盤(「グリーンクラウド基盤」)の構築

ロードマップ

平成22年度
基本設計、プロトタイプ
開発、機能検証

平成23年度
プロトタイプ拡張検討、開発、
性能検証

平成24年度
総合評価実験の実施

平成25年度~
サービス・製品の開発
国際展開 等

本研究開発を実施(柔軟で高度なクラウド連携、省電力化)

民間企業等により実施

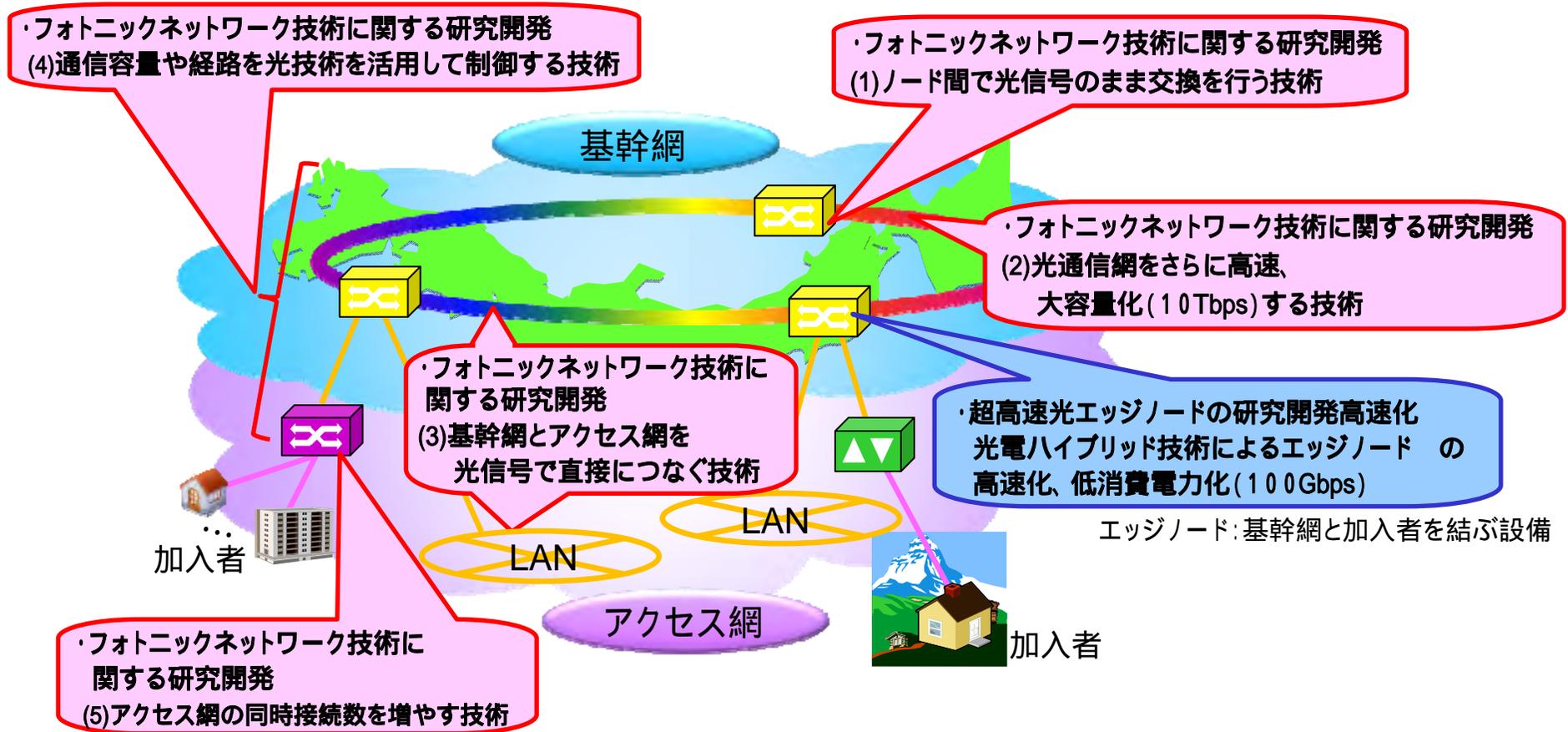
省庁名: 総務省

施策パッケージ名: 情報通信技術の活用による低炭素化

施策名: フォトニックネットワーク技術に関する研究開発及び超高速光エッジノード技術の研究開発

概算要求額: 4668百万円(内特別枠要望分2254百万円)(平成23年度、フォトニックネットワーク技術)、

980百万円(内特別枠要望分980百万円)(平成23年度、超高速光エッジノード技術)



•本施策は、経済産業省施策「次世代高効率ネットワークデバイス技術開発」、
「超低消費電力型光電子ハイブリッド回路技術開発事業」と連携し、実施する。
•国際標準の獲得により、我が国の通信機器産業の国際競争力の強化を目指す。